

第2回 練馬区立桜台第二保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

平成26年5月1日(木) 午前10時30分～11時45分

桜台第二保育園視察

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)、
桜台第二保育園長、副園長ほか

1 園長より桜台第二保育園の概要説明

2 園内視察

3 選定委員からの主な質問と回答

Q 健康教育が盛んだが、食育計画を作っているか。

A 園で計画を作って実施している。

Q 環境学習はどのようなことを行っているか。

A 清掃事務所の環境学習(スケルトン)車見学や分別体験などの環境学習を実施している。また、年長組でリサイクル隊をつくり、午睡明けに身近なごみ・資源の分別に取り組んでいる。

Q 民間委託されることについて、保護者の反応はどうか。

A 延長保育に期待している方が多い。また、荒馬を残してほしいという意見を多数いただいている。

Q 荒馬は何年ぐらいやっているか。

A だいたい10年ぐらい行っている。

Q リズムはどのような内容か。

A 「さくらさくらんぼ」の取組からスタートしたようだが、職員で統一して子どもたちに指導している。

Q リズムは何歳から行っているのか。

A 0歳から実施しており、ピアノでなく肉声で歌っている。「どんぐり」など、0歳でできるものから始めている。

Q 玄関のかぶとは喜ばれているか。

A 近隣の方にいただいたもので、子供たちにも保護者にも喜んでいただいている。朝や夕に子どもたちが親と一緒に見る光景は微笑ましい。

Q 保育課程に知育とあるが、教育には、どのように取り組んでいるか。

A 散歩で、石や葉を数えたり、看板の文字を見て、園に戻ってから、本を開けたりして学ぶところから始めている。

字を書くことを例で言えば、鉛筆の持ち方からスタートし、鏡文字や書き順などに取り組んでいる。特に年長では、おじいちゃんやおばあちゃんに手紙を書いてみるなど、字を書く機会を多くもっている。

Q 施設は全面改修工事を行うとのことだが、老朽化がひどいのか。

A 昭和 53 年 10 月に開園している。今年度、大規模改修工事を行う予定。沐浴槽など、まだまだ使える部分はあるが、流しや収納など使い勝手の良くないところもある。昭和の匂いのする施設の良さもあるが、いまどきではない。

Q 職員は、職員モットーの「待つ心」をどう捉え、実施しているか。

A 子どもや保護者に対して、待つ心を持って対応するよう、職員会議などで確認し、全職員が意識している。

Q 運動会はどこで行うか。

A 今年は大規模改修工事のため園庭が使えないので、開進第三中学校の体育館で行う予定である。通常は園庭で行っており、広くはないが十分に楽しめ、子どもの躍動感が身近に感じられる。